

アンソロジー・フィルムアーカイブス ——アメリカ実験映画の地平へ

Anthology Film Archives: Surveying American Experimental Cinema

2026 年 1 月 15 日(木)–2 月 8 日(日) @国立映画アーカイブ 長瀬記念ホール OZU[2 階]

知られざる映画たちがニューヨークからやってくる——
自由でラディカルな実験映画の作品群が一堂に会する特集企画！

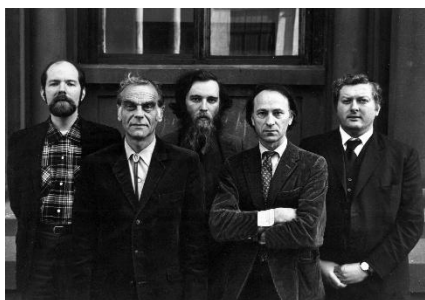
国立映画アーカイブは、2026 年 1 月 15 日より、アンソロジー・フィルムアーカイブス（以下アンソロジー）との共催企画「アンソロジー・フィルムアーカイブス——アメリカ実験映画の地平へ」を開催します。

本企画では、アンソロジーの復元によって蘇った珠玉の作品群だけでなく、アンソロジーで展開されている映画の形式や概念を批評的に問い直す先鋭的なプログラムを中心に、**アメリカ実験映画、個人映画、インディペンデント映画 115 本（23 プログラム）** を上映します。多くは日本では未上映または上映機会の少ない作品です。アンソロジー等が所蔵する貴重なフィルムでの上映を通じて、映像表現の可能性を模索しつづけたアメリカ実験映画のめくるめく豊穡な世界を体験できるまたとない機会となるでしょう。

アンソロジー・フィルムアーカイブス (Anthology Film Archives) について



アンソロジー・フィルムアーカイブスは、映像作家たちが中心となって設立したインディペンデントな組織として、“周縁の豊かさこそ文化を活気づける”という強い信念のもと、映画史において見落とされがちな**個人映画や実験的な映像作品**を軸に**保存・研究・上映を行う、世界的に見ても非常にユニークなフィルムアーカイブ**です。



「エッセンシャル・シネマ」選考委員たち

第二次世界大戦後の米国では、16mm カメラの普及やスーパー8、シングル8などの登場を受けて個人や小規模のインディペンデントによる独自の実験的試みが繰り広げられ、特に 1960 年代のニューヨークでは、映像作家、詩人、音楽家、美術家など分野を越えた交流が活発化、フリージャズ、ポップアートなどの様々な文化的潮流と共鳴しながら、アンダーグラウンド映画のムーブメントが形成されました。そして 1970 年、映画芸術の伝道師として、今や伝説的な存在ですらある詩人・映像作家のジョナス・メカスをはじめ、ジェローム・ヒル、P・アダムス・シトニー、ペーター・クーベルカ、スタン・ブラッケージによってアンソロジーは創設されました。

見どころ

▲既成概念を覆すラディカルな作品群

1960年代アンダーグラウンド映画の若き才能として注目された**ロン・ライス**や**デイヴィッド・ブルックス**、**ジョナサン・デミ**や**ポール・トーマス・アンダーソン**が敬愛する反体制的なインディペンデント映画の伝説的監督**ロバート・ダウニー・シニア**、**キャンプ**な低予算映画を次々と発表し**ジョン・ウォーターズ**や**ケリー・ライカート**に影響を与えた**クッチャー兄弟**、サイケデリック時代に先駆けた異才**ハリー・スミス**、そして**ジョナス・メカス**をはじめとするアンソロジーの創設者たち……。米国の実験映画、個人映画、インディペンデント映画の歴史に偉大な足跡を刻む作家たちの作品が一堂に会します。



『花泥棒』



『パリのD・Hへの手紙』



『裸のまま抱きしめて』 © Kuchar Brothers Trust



『ナンパー11：ミラー・アニメーション』

▲復元によって蘇った女性映像作家の作品群

ジョナス・メカスの作風にも多大な影響を与えた、ニューヨークアンダーグラウンドの重要人物である**マリー・メンケン**、そして映画評論家J・ホバーマンが「アヴァンギャルドの中で最も非利己的なチャンピオン」と称した**マージョリー・ケラー**。これまで上映の機会が限られていた二人の短篇群を、アンソロジーの復元によって蘇った16mmフィルムをもって紹介します。また、**リジー・ボーデン**の2作品——ニューヨークのフェミニスト・コレクティブを考察した初長篇作品『**リグルーピング**』（1976）と現在ではフェミニスト映画の古典とも称される近未来SF作品『**ボーン・イン・フレイムズ**』（1983）——を上映します。



『ライツ』



『6つの窓』



『リグルーピング』



『ボーン・イン・フレイムズ』

▲アンソロジー・フィルムアーカイブスのキュレーションプログラム

1970年の設立以来、アンソロジーの活動の重要な位置を占める上映プログラム。そのうち、ニューヨークで話題を呼んだ5つのプログラムより厳選した作品群を紹介します。映画の構成要素に対する従来の概念を問い直す「**イメージレス・フィルムズ**」と「**モーション（レス）・フィルムズ**」、ドキュメンタリー映画制作における倫理的側面を問う「**ドキュメンタリー・フィードバック**」とその関連プログラムである「**オーディオビジュアル・フィードバック**」。2025年11月からアンソロジーで開催された「**アヴァンギャルド広告**」では、“商業的”目的で制作された広告映像、そして依頼主から却下されるほどアヴァンギャルドなCMも含み、“非商業的”と呼称してきた映像作家とその作品の再定義を促します。



『SPACY』



『シンバイオサイコタクシプラズム：テイク・ワン』



『デュエット』



『燃え上がる愛』

トークイベント

アンソロジーからアーキビストのジョン・クラックスマン氏とプログラマーのジェド・ラプフォーゲル氏を迎えた講演だけでなく、国内の識者による講演やトークも多数開催します。

『時を数えて、砂漠に立つ』上映後講演

1月17日(土)12:00の回 登壇者：一之瀬ちひろ氏（写真家・研究者）

『トム、トム、笛吹きの息子』上映後講演

1月18日(日)12:00の回 登壇者：西嶋憲生氏（映像研究者）

「抽象アニメーション作品集」上映後講演

1月24日(土)13:00の回 登壇者：山村浩二氏（東京藝術大学教授、アニメーション作家）

「モーション（レス）・ピクチャーズ」上映後トーク

1月24日(土)19:00の回 登壇者：伊藤高志氏（映像作家）、山下宏洋氏（イメージフォーラム・フェスティバル ディレクター）

「アンソロジー・フィルムアーカイブスの創設者たち」上映後解説

1月28日(水)19:00の回 登壇者：当館研究員

「ロン・ライス作品集(2)」上映後講演（逐次通訳付き）

1月31日(土)13:00の回 登壇者：ジョン・クラックスマン氏（アンソロジー・フィルムアーカイブス アーキビスト）

「アヴァンギャルド広告」上映後講演（逐次通訳付き）

2月1日(日)13:00の回 登壇者：ジェド・ラプフォーゲル氏（アンソロジー・フィルムアーカイブス キュレーター）

『リグルーピング』上映後オンライントーク（逐次通訳付き）

2月7日(土)12:00の回 登壇者：リジー・ボーデン氏（監督）

上映作品（23 プログラム、計 115 作品）

	タイトル	原題	公開年	監督
1	ロン・ライス作品集（1）			
	花泥棒	<i>The Flower Thief</i>	1960	ロン・ライス
	テイラー・ミードの演技クラス	<i>Taylor Mead's Acting Class</i>	1960	
	チャールズ・シアターでのロン・ライス	<i>Ron Rice at the Charles Theater</i>	1962	
2	ロン・ライス作品集（2）			
	チュムラム	<i>Chumlum</i>	1964	ロン・ライス
	無感覚	<i>Senseless</i>	1962	
	チュムラム アウトテイク	<i>Chumlum Outtakes</i>	1964	
	メキシコにおける未完のフッテージ	<i>The Mexican Footage</i>	1964	
3	ふたたび男が	<i>Twice a Man</i>	1963	グレゴリー・J・マーコボウロス
4	構造映画作品集			
	波長	<i>Wavelength</i>	1967	マイケル・スノウ
	スプロケットの穴やエッジレターや汚い粒子 などのある映画	<i>Film in Which There Appear Edge Lettering, Sprocket Holes, Dirt Particles, Etc.</i>	1966	ジョージ・ランドウ
	S:TREAM:S:S:ECTION:S:ECTION:S:S:ECTIONED		1971	ポール・シャリッツ
5	詩篇 23 枝篇	<i>23rd Psalm Branch</i>	1966-67	スタン・ブラッケージ
6	デイヴィッド・ブルックス作品集			
	ジェリー	<i>Jerry</i>	1963	デイヴィッド・ブルックス
	ローランド・カーク	<i>Roland Kirk</i>	1964	
	夜の泉・昼の星	<i>Nightspring Daystar</i>	1964	
	冬 64-66	<i>Winter '64-'66</i>	1964-66	

《本特集に関するお問い合わせ》※一部の作品のステル写真を広報用に貸出します。ご希望の方は下記までお問い合わせください。

国立映画アーカイブ（上映室：金） MAIL: pr@nfaj.go.jp TEL: 03-3561-0823 FAX: 03-3561-0830

	パリの D・H への手紙	<i>Letter to D.H. in Paris</i>	1967	
	イール・クリーク	<i>Eel Creek</i>	1968	
7	トム、トム、笛吹きの子	<i>Tom, Tom, the Piper's Son</i>	1969	ケン・ジェイコブス
8	クイック・ビリー	<i>Quick Billy</i>	1970	
	クイック・ビリー : 6 つのロール	<i>Quick Billy: Six Rolls (Numbers 14, 41, 43, 46, 47, and 52)</i>	1968-69	ブルース・ベイリー
9	グリーサーズ・パレス	<i>Greaser's Palace</i>	1972	ロバート・ダウニー
10	抽象アニメーション作品集			
	フィルム・エクササイズ 1	<i>Film Exercise 1</i>	1943	ジョン・ホイットニー、 ジェームズ・ホイットニー
	魅惑	<i>Allures</i>	1961	ジョーダン・ベルソン
	ラピス	<i>Lapis</i>	1966	ジェームズ・ホイットニー
	神を逆さに綴ると犬	<i>God Is Dog Spelled Backwards</i>	1967	ダン・マクローリン
	オブチカル・ポエム	<i>An Optical Poem</i>	1938	オスカー・フィッシングアー
	ポルカ・グラフ	<i>Polka Graph</i>	1947	メアリ・エレン・ビュート
	呼吸	<i>Breathing</i>	1963	ロバート・ブリア
	デュオ・コンチェルタンテ	<i>Duo Concertantes</i>	1962-64	ラリー・ジョーダン
	フランク・フィルム	<i>Frank Film</i>	1973	フランク・モリス
11	リグルーピング	<i>Regrouping</i>	1976	リジー・ボーデン
12	クッチャー兄弟作品集			
	裸のまま抱きしめて	<i>Hold Me While I'm Naked</i>	1966	ジョージ・クッチャー
	フレッシュアポイドの罪	<i>Sins of the Fleshapoids</i>	1965	マイク・クッチャー
	私、女優	<i>I, An Actress</i>	1977	ジョージ・クッチャー
13	ハリー・スミス作品集			
	ナンバー 11 : ミラー・アニメーション	<i>Film No. 11 (Mirror Animations)</i>	1957	
	ナンバー 15	<i>Film No. 15</i>	1965-66	
	ナンバー 14 : レイト・スーパーインポジション	<i>Film No. 14 (Late Superimpositions)</i>	1964	ハリー・スミス
	ナンバー 19	<i>Film No. 19</i>	1978	
14	マリー・メンケン／マージョリー・ケラー作品集			
	急いで！急いで！	<i>Hurry! Hurry!</i>	1957	
	ドワイトィアーナ	<i>Dwightiana</i>	1957	
	庭の印象	<i>Glimpse of The Garden</i>	1957	
	アラベスク	<i>Arabesque for Kenneth Anger</i>	1961	マリー・メンケン
	ムーンプレイ	<i>Moonplay</i>	1964	
	ドリップス・イン・ストリップス	<i>Drips in Strips</i>	1962-64	
	ライツ	<i>Lights</i>	1964-65	
	アンディ・ウォーホル	<i>Andy Warhol</i>	1965	
	シ／ヴァ	<i>She / Va</i>	1973	
	6 つの窓	<i>Six Windows</i>	1979	
	アウター・サークル	<i>The Outer Circle</i>	1973	マージョリー・ケラー
	カオスの娘たち	<i>Daughters of Chaos</i>	1980	
	フィルム・ノートブック : 1969-76 パート 2 —— 私たちの一部は機械時代にいる	<i>Film Notebook: 1969-76; Part 2, Some of Us in The Mechanical Age</i>	1977	
15	ボーン・イン・フレイムズ	<i>Born in Flames</i>	1983	リジー・ボーデン
16	アンソロジー・フィルムアーカイブスの創設者たち			
	カシス	<i>Cassis</i>	1966	ジョナス・メカス
	サーカス・ノート	<i>Notes on the Circus</i>	1966	

《本特集に関するお問い合わせ》※一部の作品のステル写真を広報用に貸出します。ご希望の方は下記までお問い合わせください。

国立映画アーカイブ(上映室:金) MAIL: pr@nfaj.go.jp TEL: 03-3561-0823 FAX: 03-3561-0830

	窓・水・赤ん坊・動き	Window Water Baby Moving	1959	スタン・ブラッケージ
	ワンダー・リング	The Wonder Ring	1955	
	猫のゆりかご	Cat's Cradle	1959	
	蛾の光	Mothlight	1963	
	ルーニー・トム、幸福な恋人たち	Loony Tom, The Happy Lover	1951	ジェームス・ブロートン
	落下の世界	The Fallen World	1983	マージョリー・ケラー
	アルヌルフ・ライナー	Arnulf Rainer	1960	ペーター・クーベルカ
17	時を数えて、砂漠に立つ	He Stands in a Desert Counting the Seconds of His Life	1985	ジョナス・メカス
18	ストム・ソゴ作品集			
	ペリオディカル・エフェクト	Periodical Effect	2001	ストム・ソゴ
	シルバー・プレイ	Silver Play	2002	
	ゆるやかな死	Slow Death	2000	
	追伸 死んでしまったと思った瞬間	PS When You Thought You are Going to Die	2003	
	TRI		2004	
	リピート	Repeat	2006	

● アンソロジー・フィルムアーカイブスキュレーションプログラム

19	「イメージレス・フィルムズ」シリーズより			
	プロジェクション・インストラクションズ	Projection Instructions	1976	モーガン・フィッシャー
	スペシャル・エフェクツ	Special Effects (Hapax Legomena Vii)	1972	ホリス・フランプトン
	カラー・シークエンス	Color Sequence	1943	ドウィネル・グラント
	白	Weiβ	1968	エルンスト・シュミット・ジュニア
	ワード・ムービー（フルクサス・フィルム No.29）	Word Movie (Fluxfilm No. 29)	1966	ポール・シャリツツ
	Evil.27: セルマ	Evil.27: Selma	2011	トニー・コークス
	テレビジョン・デリバーズ・ピープル	Television Delivers People	1973	リチャード・セラ、 カルロッタ・スクールマン
	ウィークエンド	Wochenende	1928	ヴァルター・ルットマン
	モナ・リザと微笑み	Mona Lisa & Her Smile	1964	オノ・ヨーコ
20	「モーション（レス）・ピクチャーズ」シリーズより			
	エンジェル・ビーチ	Angel Beach	2001	スコット・スターク
	パサディナ・フリーウェイ・スティルズ	Pasadena Freeway Stills	1974	ゲーリー・バイドラー
	SPACY		1981	伊藤高志
	資本主義：奴隷制	Capitalism: Slavery	2006	ケン・ジェイコブス
	アンダースキャン	Underscan	1974	ナンシー・ホルト
	ノスタルジア	Hapax Legomena I: (nostalgia)	1971	ホリス・フランプトン
21	「ドキュメンタリー・フィードバック」シリーズより			
	シンバイオサイコタクシプラズム：テイク・ワン	Symbiopsychotaxiplasm: Take One	1968	ウィリアム・グリーヴス
22	「オーディオビジュアル・フィードバック」シリーズより			
	ミラー	Mirror	1969	ロバート・モリス
	ダブル・ミラー・ビデオ	Double Mirror Video	1971	ジェネラル・アイディア
	レフトサイド・ライトサイド	Left Side Right Side	1972	ジョーン・ジョナス
	デュエット	Duet	1972	ジョーン・ジョナス
	ミラーリング	Mirroring	1975	ダラ・バーンバウム
	鏡張りの理由	Mirrored Reason	1979	スタン・ヴァンダービーク

《本特集に関するお問い合わせ》※一部の作品のステル写真を広報用に貸出します。ご希望の方は下記までお問い合わせください。

国立映画アーカイブ（上映室：金） MAIL: pr@nfaj.go.jp TEL: 03-3561-0823 FAX: 03-3561-0830

	パフォーマー／観客／鏡	Performer/Audience/Mirror	1975	ダン・グラハム
23	「アヴァンギャルド広告」シリーズより			
	勝者	<i>Der Sieger</i>	1921	ヴァルター・ルトマン
	奇跡	<i>Das Wunder</i>	1922	
	侯爵夫人の秘密	<i>Das Geheimnis der Marquisin</i>	1922	ロッテ・ライニガー
	舟歌	<i>Die Barcarole</i>	1924	ロッテ・ライニガー、 ユリウス・ピンシェワー
	キーフォ・フィルム	<i>Film (Kipho)</i>	1925	ユリウス・ピンシェワー、 グイド・ゼーバー
	上昇	<i>Der Aufstieg</i>	1926	ロッテ・ライニガー、 ユリウス・ピンシェワー
	2 ペンスの魔法	<i>Zweigroschenzauber</i>	1929	ハンス・リヒター
	カレイドスコープ	<i>Kaleidoscope</i>	1935	レン・ライ
	ロボットの誕生	<i>The Birth of a Robot</i>	1935	
	トレード・タトゥー	<i>Trade Tattoo</i>	1937	
	カラー・フライト	<i>Colour Flight</i>	1938	
	泡の戯れ	<i>Hra bublinek</i>	1937	カレル・ドダル、 イレナ・ドダロヴァー
	宇宙の響き	<i>Znějící vesmír</i>	1935	
	秋の歌	<i>Píseň podzimu</i>	1937	アレクサンダー・ハミッド、 エルマル・クロス
	ハイウェイが歌う	<i>Silnice zpívá</i>	1937	
	燃え上がる愛	<i>Izzó Szerelem</i>	1939	マチカーシ・ジュラ
	光	<i>Fény</i>	1942	
	クロニクル	<i>Chronicle</i>	1955	ジョーダン・ベルソン
	輪	<i>Kreise</i>	1933-34	オスカー・フィッシンガー
	ムラッティ	<i>Muratti Privat</i>	1935	
	マンツ TV コマーシャル	<i>Muntz TV</i>	1953	
	アデバー	<i>Adebar</i>	1957	ペーター・クーベルカ
	シュベカター	<i>Schwechater</i>	1958	

巡回情報(※一部作品のみ)

福岡：2026年2月5日（木）－2月22日（日）@福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

京都：2026年2月～3月 予定 @京都文化博物館フィルムシアター

* 詳細は今後随時更新予定。各機関のHPをご確認ください。

開催概要

企画名：アンソロジー・フィルムアーカイブス——アメリカ実験映画の地平へ

（英語タイトル：Anthology Film Archives: Surveying American Experimental Cinema）

会期：2026年1月15日（木）－2月8日（日） ※月曜休館

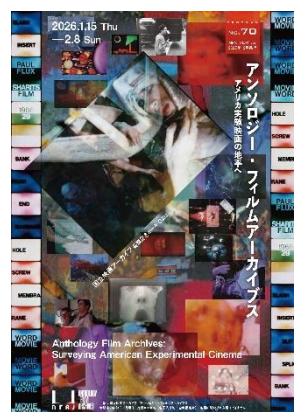
会場：国立映画アーカイブ 長瀬記念ホール OZU [2階]

H P： <https://www.nfaj.go.jp/film-program/anthology202601/>

主催：国立映画アーカイブ、アンソロジー・フィルムアーカイブス

問合せ：050-5541-8600（ハローダイヤル）

チケット：一般1300円、65歳以上1100円、高校・大学生700円、小・中学生・障害者手帳をお持ちの方（付添者は原則1名まで）・国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズ500円



《本特集に関するお問い合わせ》※一部の作品のステル写真を広報用に貸出します。ご希望の方は下記までお問い合わせください。

国立映画アーカイブ(上映室:金) MAIL: pr@nfaj.go.jp TEL: 03-3561-0823 FAX: 03-3561-0830